

キリスト教徒は職場で十字架を着用できるでしょうか？

二人のキリスト教徒の女性が職場で十字架を着用するためヨーロッパ人権裁判所で戦っていると、Dominic Burbridgeが伝えます。



Nadia Eweida と Shirley Chaplin という二人のキリスト教徒が、雇用者から職場で十字架を着用することを禁止されたことを理由に、ヨーロッパ人権裁判所に訴訟を起こしました。2010年にイギリスで起こした訴訟は両方とも [敗訴になった](#) ため、ヨーロッパ人権条約第9条を下にこの二人のキリスト教徒は救済を求めました。同条項は、個人の「信仰、教育、慣習、儀式における宗教や信条の単独、又は他者との集団での公私の表現の自由」を含む、[信条](#)、[良心](#)、[宗教の自由](#)の権利を保障しています。

キリスト教の十字架のネックレスを見える場所に着用したことを理由に、Eweida はブリティッシュエアウェイズに無賃金休職を強いられました。十字架の着用はアクセサリーの着用を禁止している制服規則の違反に当たるとブリティッシュエアウェイズは主張しました。イギリスで看護師として働く Shirley

Chaplin は十字架を着用し続けたことを理由に事務職に移動させられました。Shirley Chaplin が従わ

なければいけない英国国民

言論の自由についての討論

Thirteen languages. Ten principles. One conversation.

<https://freespeechdebate.com/ja>

保険トラストのポリシーは、患者によって[引っ張られる](#)可能性があるので前線で働くスタッフのネクレスの着用を禁止しています。十字架を着用することは「信仰の必要条件」ではなくヨーロッパ人権法ではカバーされていないとイギリス政府は同キリスト教徒の上訴に反論しました。

出版日：4月 13, 2012